

別紙

I. 事業評価総括表

平成24年度 電源立地地域対策交付金事業評価報告書

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	のとり原キャンプ場東屋改築事業	岡山県鏡野町	7,035,000	6,200,000	
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	オートキャンプ場改修事業	岡山県鏡野町	7,110,600	6,800,000	
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	奥津簡易水道統合事業	岡山県鏡野町	94,929,450	85,000,000	
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	上齋原簡易水道統合事業	岡山県鏡野町	14,131,950	13,000,000	
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	上齋原総合教育施設便所改修事業	岡山県鏡野町	13,440,000	12,600,000	
6	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	鶴喜小学校プール改修事業	岡山県鏡野町	21,000,000	19,200,000	
7	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大野小学校体育館改修事業	岡山県鏡野町	52,395,000	51,500,000	
8	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	クアガーデンこのか維持運営事業	岡山県鏡野町	14,645,145	12,800,000	
9	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	ガラス美術館維持運営事業	岡山県鏡野町	14,351,343	13,000,000	
10	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業	岡山県鏡野町	308,272,844	279,900,000	
11	地域活性化措置	恩原高原氷紋まつり事業	岡山県鏡野町	6,500,000	5,000,000	
				553,811,332	505,000,000	

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	のとり原キャンプ場東屋改築事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町富西谷地内			
交付金事業の概要	東屋改修 ・基礎改修 ・屋根、壁改修 ・塗装改修 ・防雪幕改修			
総事業費	7,035,000	交付金充当額	6,200,000	
		うち文部科学省分	6,200,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	老朽化した設備を整備することにより、利用者の安全の確保と利便性の向上が図れた。また、当町の観光拠点施設であるのとり原キャンプ場の管理運営上の問題点を解消することができ、観光産業の振興と雇用が確保された。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	工事の請負	指名競争入札	(有)小椋住建	7,035,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	オートキャンプ場改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町上齋原地内			
交付金事業の概要	老朽化した電源設備の更新及び新設 更新 コンセント盤1個用 1 コンセント盤2個用 8 コンセント盤3個用 1 新設 コンセント盤1個用 2 コンセント盤2個用 6			
総事業費	7,110,600	交付金充当額		
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分		
6,800,000				
6,800,000				
交付金事業の成果及び評価	老朽化した設備を整備することにより、利用者の安全の確保と利便性の向上が図れた。また、当町の観光拠点施設である恩原高原オートキャンプ場の管理運営上の問題点を解消することができ、観光産業の振興と雇用が確保された。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	工事の請負	指名競争入札	(株)スペック	7,110,600
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業名		
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	奥津簡易水道統合事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町奥津、奥津川西、羽出西谷、西屋地内			
交付金事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・奥津地区の飲料水供給施設1箇所と簡易水道を統合 ・羽出地区により安定した水の配水ができるよう西谷浄水場の一部配水管の口径の増径及び減圧弁の設置 			
総事業費	94,929,450	交付金充当額	85,000,000	
		うち文部科学省分	85,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	施設を統合したことにより水質の安全性の向上や安定した水の確保及び供給が図られた。また、施設管理の軽減や通常のろ過工程作業の軽減等により維持管理作業への経費が大幅に縮減することができた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	工事の請負	一般競争入札・指名競争入札	(株)川本 他7社	94,929,450
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	上齋原簡易水道統合事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町上齋原地内			
交付金事業の概要	本村簡易水道 ろ過池への越流管の敷設 配水池へ滅菌設備、遠方監視システム、流量計、水位計の設置			
総事業費	14,131,950	交付金充当額	13,000,000	
		うち文部科学省分	13,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	施設を統合したことにより水質の安全性の向上や安定した水の確保及び供給が図られた。また、施設管理の軽減や通常のろ過工程作業の軽減等により維持管理作業への経費が大幅に縮減することができた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	工事の請負	指名競争入札	アズビル(株)	14,131,950
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	上齋原総合教育施設便所改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町上齋原地内			
交付金事業の概要	便器に封水トラップのある洋式大便器、小便器への取替え 洋風大便器 8組 幼児用洋風大便器 1組 小便器 12組 幼児用小便機 2組 トイレブースの改修 17箇所			
総事業費	13,440,000	交付金充当額	12,600,000	
		うち文部科学省分	12,600,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	児童・生徒が、快適な教育環境で学校生活が送れるようになった。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	工事の請負	指名競争入札	朝田工業(株)	13,440,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
6	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	鶴喜小学校プール改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町下森原地内		
交付金事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・プール改修（防水改修、シャワー廻り改修、フェンス取替、プール廻り壁面塗替） ・管理棟改修（外壁再塗装、陸屋根防水改修、外部コーキング改修、内壁塗替、トイレブース取替、ガラス取替） ・電灯設備改修（照明器具）・機械設備改修（衛生器具、給・配水設備、給湯設備、ガス設備、ろ過設備） 		
総事業費	21,000,000	交付金充当額	19,200,000	
		うち文部科学省分	19,200,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		児童が安心して水泳授業に取り組める施設となり、水泳技能の習得、体力向上が図れるようになった。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	工事の請負	指名競争入札	(株)中西工業所	21,000,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業名		
7	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大野小学校体育館改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町円宗寺地内		
交付金事業の概要		・屋根改修（屋根、板金、樋） ・防水改修 ・外壁改修（吹付・塗装） ・スロープ設置 ・内部改修（床・壁、建具、塗装、コートライン、スクリーン） ・体育器具改修（吊縄、ハンガー金物取替え、モップハンガー） ・渡り廊下改修（屋根、塗装）		
総事業費	52,395,000	交付金充当額		51,500,000
		うち文部科学省分		51,500,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		児童の学習のための空間として、また、地域の社会体育の拠点として、快適で豊かな施設環境となった。 安心感のある施設環境を形成することはもとより、学校開放の運営と維持管理の行いやすい施設となった。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	工事の請負	指名競争入札	(株)中西工業所	52,395,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
充当予定なし				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
 (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
8	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	クアガーデンこのか維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		クアガーデンこのか維持運営事業		
交付金事業実施場所	鏡野町上齋原地内			
交付金事業の概要	「クアガーデンこのか」の指定管理料 A重油代、電気代、浄化槽維持管理業務委託料			
総事業費	14,645,145	交付金充当額	12,800,000	
		うち文部科学省分	12,800,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	「クアガーデンこのか」の固定的に必要な維持運営費へ交付金を充当することにより、健康増進、保養、交流と地域を活性化するための施設として広く利用に供することができ、住民福祉の向上に寄与することができた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	電気給付契約 他	随意契約 他	中国電力 他	14,645,145
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
9	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	ガラス美術館維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町上齋原地内		
交付金事業の概要		妖精の森ガラス美術館職員人件費 5名 (内訳) 職員 1名 臨時職員 4名		
総事業費	14,351,343	交付金充当額		13,000,000
		うち文部科学省分		13,000,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		「妖精の森ガラス美術館」の固定的に必要な維持運営費に交付金を充当することにより、ガラスをテーマにした「見る」「学ぶ」「体験する」といった複合的なサービスの提供を行うことができ、文化の香り高い地域づくりに貢献することができた。また、観光客や地域の人々との人・もの・情報の交流促進を図ることができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
「妖精の森ガラス美術館」の固定的に必要な維持運営費に交付金を充当することにより、ガラスをテーマにした「見る」「学ぶ」「体験する」といった複合的なサービスの提供を行うことができ、文化の香り高い地域づくりに貢献することができる。また、観光客や地域の人々との人・もの・情報の交流促進を図ることができる。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
10	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町古川地内、円宗寺地内、下森原地内、中谷理内、香々美地内、真経地内、薪森原地内、井坂地内、羽出地内、奥津川西地内、上齋原地内、富西谷地内		
交付金事業の概要		上齋原総合福祉センターの指定管理料 スポーツレクリエーション施設の指定管理料 有線テレビ人件費 3名 保育園人件費 53名 幼稚園人件費 8名 小学校人件費 17名 中学校人件費 6名 学校共同調理場人件費 12名 図書館人件費 5名 公民館人件費 12名		
総事業費	308,272,844	交付金充当額		279,900,000
		うち文部科学省分		279,900,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		各福祉施設の固定的に必要な維持運営費へ交付金を充当することにより、今後も継続して各施設を広く利用に供することができたり、対象となる保育園児、幼稚園児、児童・生徒等に対して適切な環境を与えて心身の健全な発達を助長し、住民福祉の向上に寄与することができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	電気給付契約 他	随意契約 他	中国電力 他	
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
10-1	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業（上齋原総合福祉センター維持運営事業）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町上齋原地内		
交付金事業の概要		上齋原総合福祉センターの指定管理料 ・A重油代 ・電気代		
総事業費	4,825,956	交付金充当額		4,000,000
		うち文部科学省分		4,000,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		上齋原総合福祉センターの固定的に必要な維持運営費へ交付金を充当することにより、継続して各施設を広く利用に供することができ、住民福祉の向上に寄与することができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	電気給付契約 他	随意契約 他	中国電力 他	4,825,956
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
10-2	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業（スポーツレクリエーション施設維持管理費）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町上齋原地内		
交付金事業の概要		スポーツレクリエーション施設の維持運営費 ・電気代 ・浄化槽維持管理業務委託料		
総事業費	2,785,734	交付金充当額		2,000,000
		うち文部科学省分		2,000,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		上齋原観光スポーツ施設の固定的に必要な維持運営費へ交付金を充当することにより、継続して各施設を広く利用に供することができ、住民福祉の向上に寄与することができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	電気給付契約 他	随意契約 他	中国電力 他	2,785,734
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
10-3	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業（有線テレビ施設維持管理費）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町井坂地内		
交付金事業の概要		鏡野町有線テレビ放送施設の職員人件費 有線テレビ職員人件費 3名分		
総事業費	11,531,139	交付金充当額		10,000,000
		うち文部科学省分		10,000,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		「鏡野町有線テレビ」の固定的に必要な維持運営費に交付金を充当することにより、有線テレビ放送事業及び電気通信事業を行うことができ、農林業生産の近代化と、社会生活環境の改善に効果があり、また、広報活動及び住民相互の連絡が円滑になり、新しい情報化社会に適応した明るく住みよい豊かな町づくりに役立った。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
10-4	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業（保育園維持運営事業費）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町古川地内、円宗寺地内 下森原地内 香々美地内 女原地内 富西谷地内		
交付金事業の概要		鏡野町立保育園（芳野・大野・鶴喜・香南・奥津・富）の職員人件費 保育園職員人件費 53名分（職員22名 臨時職員31名）		
総事業費	160,182,578	交付金充当額		149,900,000
		うち文部科学省分		149,900,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		「芳野保育園・大野保育園・鶴喜保育園・香南保育園・奥津保育園・富保育園」の固定的に必要な維持運営費に交付金を充当することにより、日々保護者の委託を受けて、保育に欠ける乳児又は幼児を保育することができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
 (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
10-5	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業（幼稚園維持運営事業費）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町薪森原地内 上齋原地内		
交付金事業の概要		鏡野町立幼稚園（郷・上齋原）の職員人件費 幼稚園職員人件費 8名分（職員2名 臨時職員6名）		
総事業費	21,391,254	交付金充当額		19,000,000
		うち文部科学省分		19,000,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		「郷幼稚園・上齋原幼稚園」の固定的に必要な維持運営費に交付金を充当することにより、幼児を保育し適当な環境を与えてその心身の発達を助長し、社会に適応できるよう育成することができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
10-6	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業（小学校維持運営事業）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町古川地内 円宗寺地内 下森原地内 香々美地内 真経地内 女原地内 上齋原地内 富西谷地内			
交付金事業の概要	鏡野町立小学校（南・大野・鶴喜・香々美・香北・奥津・上齋原・富）の職員人件費 小学校職員人件費 17名分（臨時講師 10名 校務員 1名 臨時校務員 6名）			
総事業費	34,022,265	交付金充当額	30,000,000	
		うち文部科学省分	30,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	「南小学校・大野小学校・鶴喜小学校・香々美小学校・香北小学校・奥津小学校・上齋原小学校・富小学校」の固定的に必要な維持運営費への交付金充当により、心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする小学校を良好な環境で維持することができた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業名		
10-7	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業（中学校維持運営事業）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町竹田地内 井坂地内 上齋原地内 富西谷地内		
交付金事業の概要		鏡野町立中学校（鏡野・奥津・上齋原・富）の職員人件費 中学校職員人件費 6名（臨時講師 2名 校務員 1名 臨時校務員 3名）		
総事業費	13,160,183	交付金充当額		12,000,000
		うち文部科学省分		12,000,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		「鏡野中学校・奥津中学校・上齋原中学校・富中学校」の固定的に必要な維持運営費へ交付金を充当したことにより、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする中学校を良好な環境で維持することができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
 (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
10-8	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業（学校給食共同調理場維持運営事業）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町竹田地内		
交付金事業の概要		鏡野町学校給食共同調理場の職員人件費 学校給食共同調理場職員人件費 12名分（職員1名 臨時調理員 11名）		
総事業費	25,877,504	交付金充当額		23,000,000
		うち文部科学省分		23,000,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		「鏡野町学校給食共同調理場」の固定的に必要な維持運営費に交付金を充当することにより、町内の小学校及び中学校に在学する児童生徒及びこれらの機関に属する職員及び学校給食共同調理場の業務に従事する職員を対象として給食を実施することができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
10-9	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業（図書館維持運営事業）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町竹田地内		
交付金事業の概要		鏡野町立図書館の職員人件費 図書館職員人件費 5名分（職員 1名 臨時職員 4名）		
総事業費	12,642,129	交付金充当額		11,000,000
		うち文部科学省分		11,000,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		「鏡野町立図書館」の固定的に必要な維持運営費に交付金を充当することにより、町民の生涯学習の拠点として、図書、記録、視聴覚資料その他必要な資料や情報を収集し、整理、保存して町民の利用に供することができ、学術その他文化に関する活動を促進することができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度				特に予定なし

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
10-10	福祉対策措置	福祉施設維持運営事業（公民館維持運営事業）		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所	鏡野町古川地内 円宗寺地内 下森原地内 中谷地内 香々美地内 真経地内 薪森原地内 女原地内 羽出地内 奥津川西地内 上齋原地内 富西谷地内			
交付金事業の概要	鏡野町立公民館の職員人件費 公民館職員人件費 12名分（臨時公民館長 12名）			
総事業費	21,854,102	交付金充当額	19,000,000	
		うち文部科学省分	19,000,000	
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価	「鏡野町立公民館」の固定的に必要な維持運営費に交付金を充当することにより、町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図ることができ、生活文化の振興、住民福祉の向上に関する活動を促進することができた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
住民福祉の向上に必要な施設であるため、交付金を充当して継続して運営する。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
 (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個表

(単位：円)

番 号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
1 1	地域活性化措置	恩原高原氷紋まつり事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		岡山県鏡野町		
交付金事業実施場所		鏡野町上齋原地内		
交付金事業の概要		地域の特色である「雪」を利用したイベントの開催 雪像制作・展示、花火の打ち上げ、レーザーライトショー、雪上イベント、特産品の販売		
総事業費	6,500,000	交付金充当額		5,000,000
		うち文部科学省分		5,000,000
		うち経済産業省分		
交付金事業の成果及び評価		地域の特色である「雪」を利用したイベントを開催することにより、恩原高原の魅力を広くPRすることができた。 地域産物の販売を行い、地域の活性化を図ることができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契 約 の 目 的	契 約 の 方 法	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額
	業務の委託	公募型プロポーザル入札方式	株式会社山陽放送サービス	6,500,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
<p>厳しい社会情勢が続く中、継続的にイベントを開催してきたことにより、観光入込客数も初期の目標を達成しつつあり、今後も恒例のイベントとして定着させることで地域振興に役立てていきたいと考えている。</p>				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。